

# 令和4年7月－9月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（7月－9月期）

県内の景気は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。この間、企業の業況感は、非製造業が悪化したものの、製造業が改善したことから、全産業でも改善した。設備投資は、供給制約の影響がみられるものの、増加している。個人消費は、持ち直している。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	5	5	9	17	36

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	1	1	2	4
1～4人	3	4	8	13	28
5～10人	1	0	0	2	3
11～20人	1	0	0	0	1

## 過去3ヵ月（R4年4月～6月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 横ばい	3	0	6	7	16
3 減少	2	5	3	9	19

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	2	0	3
2 横ばい	3	3	5	8	19
3 減少	2	1	2	9	14

➡ 50%以上で減少したとあり、横ばいに推移または減少すると見通している。

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	4	5	7	10	26
2 横ばい	0	0	2	4	6
3 減少	1	0	0	3	4

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	4	5	11	23
2 横ばい	1	1	3	4	9
3 減少	1	0	1	2	4

➡ 70%以上が増加とし、今後も増加傾向が続くとしている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	0	4	8	15
3 減少	2	5	5	9	21

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	1	6	9	19
3 減少	2	4	3	8	17

➡ 減少が50%以上を占めており、横ばいに推移または減少すると見通している。

Q7 資金繰りにについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	4	4	9	20
3 悪化	2	1	5	8	16

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	3	6	9	21
3 悪化	2	2	3	8	15

➡ 50%以上が横ばいとし、今後も同等に推移していくと見通している。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	0	0	2	1	3
2 投資しなかった	5	5	7	16	33

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	1	0	1	3	5
2 投資しない	4	5	8	14	31

➡ 90%以上が設備投資しなかったと回答するも、10%以上が投資したいと回答した。

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 変わらない	5	5	9	14	33
3 減少	0	0	0	3	3

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	5	9	15	34
3 減少	0	0	0	2	2

➡ 90%以上が横ばいで推移しており、今後も横ばいで推移するとしている。

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	0	0	0	0
2 変わらない	3	0	5	7	15
3 悪くなっている	2	5	4	10	21

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	1	0	1
2 変わらない	1	0	2	7	10
3 悪くなる	4	5	6	10	25

➡ 50%以上が前期より「悪い」としており、今後も悪化すると見ている。

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	2	3	6	7	18
2 販売価格の低下	0	1	1	3	5
3 原材料の高騰	4	5	4	13	26
4 人件費の増加	1	1	0	0	2
5 取引条件の悪化	0	1	1	2	4
6 同業者との競争激化	0	2	3	3	8
7 人材確保難	1	0	0	2	3
8 経営者の高齢化	2	1	1	7	11
9 後継者難	2	0	0	5	7
10 その他	0	0	0	0	0



前期に続き「原材料の高騰」「需要の低迷」が多くみられ、「競争の激化」といった事業環境の変化による課題が目立っている。また「経営者の高齢化」「後継者難」などの人的課題も浮き彫りとなった。

板柳町の景気動向（7月－9月期）

長引く供給制約の影響による物価上昇に歯止めがかからず、原材料の高騰を経営課題としてあげる事業所が全般的に多い。県全体の動向として景況は回復しているとされているが、アンケートの結果を全体的に見ると、景況は悪化しているとの回答が多く、事業主個人の感覚としては回復しているという傾向を感じ辛い状況が見て取れる。

また、今年度も実施されたプレミアム商品券が7月に販売され、大変好評であったため今後の消費拡大に期待したい。